

2026/4～2026/6 にっしん景況レポート

Vol.
41
2026/6



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2026年4～6月の景気の現状と2026年7～9月の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

- 調査対象期間 : 2026年4～6月の実績(6月については予想)
2026年7～9月の見通し
- 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
- 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の358社
- 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
- 期間について : 今期 = 2026年4～6月
前期 = 2026年1～3月
前年同期 = 2025年4～6月
来期 = 2026年7～9月
- 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	150	48	22	17	24	19	20
三木地区	55	19	11	5	8	8	4
神戸地区	153	24	24	17	39	26	23
業種合計	358	91	57	39	71	53	47



日新信用金庫

The Nisshin shinkin bank

● 今期の景況

今期(2026年4月～6月)は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲9.2となり、前期(2026年1月～3月)に比べて変わらずとなった。売上額判断D.I.は3.9となり、前期と比べて8.7ポイント改善した。収益判断D.I.は▲5.0となり、前期と比べて2.0ポイント改善した。

● 来期の見通し

来期(2026年7月～9月)の予想業況判断D.I.は▲12.3となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。

〈回答数〉

	良 い	やや良い	普 通	やや悪い	悪 い	合 計
回 答 数	13	62	175	94	14	358
回 答 割 合	3.6 %	17.3 %	48.9 %	26.3 %	3.9 %	100 %

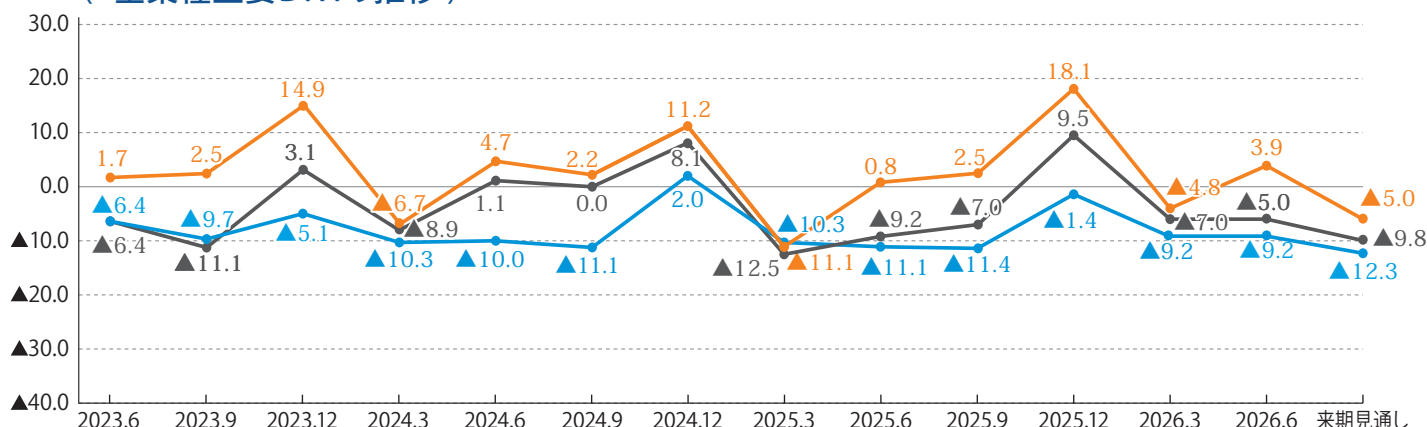
〈2026年4～6月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲ 8.0	▲ 6.3	▲ 9.1	▲ 41.2	▲ 25.0	15.8	15.0
三木地区	▲ 18.2	▲ 31.6	▲ 27.3	▲ 40.0	12.5	▲ 12.5	25.0
神戸地区	▲ 7.2	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 29.4	0.0	▲ 7.7	4.3
全地区	▲ 9.2	▲ 12.1	▲ 14.0	▲ 35.9	▲ 7.0	0.0	10.6

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	▲ 9.2	▲ 9.2	▲ 12.3	販売価格(前期比)	19.3	29.6	28.5
売 上 額 (前 期 比)	▲ 4.8	3.9	▲ 5.0	仕入価格(前期比)	43.1	65.4	62.3
売上額(前年同期比)	1.4	1.4	—	資金繰り(楽－苦)	▲ 8.7	▲ 8.4	▲ 12.0
収 益 (前 期 比)	▲ 7.0	▲ 5.0	▲ 9.8	人手不足(過剰－不足)	▲ 33.3	▲ 31.6	▲ 30.7
収 益 (前年同期比)	▲ 2.8	▲ 2.5	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲12.1となり、前期実績と比して2.1ポイント低下した。

売上額判断D.I.は3.3、収益判断D.I.は▲8.8となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は6.6ポイント改善し、収益判断D.I.は5.5ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は3.3、収益判断D.I.の前年同期比は▲3.3となり、昨年の同じ時期に比べ売上額は増加したものの、収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲20.9となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲11.0、予想収益判断D.I.は▲14.3となり、売上額および収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	▲ 10.0	▲ 12.1	▲ 20.9	販売価格 (前期比)	14.4	29.7	34.1
売 上 額 (前 期 比)	▲ 3.3	3.3	▲ 11.0	仕入価格 (前期比)	38.9	75.8	68.1
売上額 (前年同期比)	1.1	3.3	—	資金繰り (楽－苦)	▲ 8.9	▲ 8.8	▲ 15.4
収 益 (前 期 比)	▲ 3.3	▲ 8.8	▲ 14.3	人手不足 (過剰－不足)	▲ 27.8	▲ 20.9	▲ 19.8
収 益 (前年同期比)	▲ 7.8	▲ 3.3	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲14.0となり、前期実績と比して3.5ポイント改善した。

売上額判断D.I.は7.0、収益判断D.I.は▲12.3となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は22.8ポイント、収益判断D.I.は8.8ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲8.8、収益判断D.I.の前年同期比は▲24.6となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲24.6と、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲19.3、予想収益判断D.I.は▲33.3となり、売上額および収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	▲ 17.5	▲ 14.0	▲ 24.6	販売価格 (前期比)	31.6	52.6	40.4
売 上 額 (前 期 比)	▲ 15.8	7.0	▲ 19.3	仕入価格 (前期比)	57.9	71.9	61.4
売上額 (前年同期比)	▲ 3.5	▲ 8.8	—	資金繰り (楽－苦)	▲ 5.3	▲ 7.0	▲ 12.3
収 益 (前 期 比)	▲ 21.1	▲ 12.3	▲ 33.3	人手不足 (過剰－不足)	▲ 24.6	▲ 24.6	▲ 22.8
収 益 (前年同期比)	▲ 1.8	▲ 24.6	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲35.9となり、前期実績と比して8.9ポイント低下した。

売上額判断D.I.は▲10.3、収益判断D.I.は▲10.3となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は16.7ポイント、収益判断D.I.は24.8ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲17.9、収益判断D.I.の前年同期比は▲12.8となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲20.5となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲12.8、予想収益判断D.I.は▲15.4となり、売上額および収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	▲ 27.0	▲ 35.9	▲ 20.5	販売価格 (前期比)	8.1	25.6	25.6
売 上 額 (前 期 比)	▲ 27.0	▲ 10.3	▲ 12.8	仕入価格 (前期比)	32.4	51.3	48.7
売上額 (前年同期比)	▲ 13.5	▲ 17.9	—	資金繰り (楽－苦)	▲ 16.2	▲ 10.3	▲ 5.1
収 益 (前 期 比)	▲ 35.1	▲ 10.3	▲ 15.4	人手不足 (過剰－不足)	▲ 27.0	▲ 28.2	▲ 30.8
収 益 (前年同期比)	▲ 24.3	▲ 12.8	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲7.0となり、前期実績と比して9.4ポイント改善した。

売上額判断D.I.は11.3、収益判断D.I.は4.2となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は25.2ポイント、収益判断D.I.は12.4ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は9.9、収益判断D.I.の前年同期比は2.8となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は0.0となり、業況は変わらないと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は12.9、予想収益判断D.I.は8.6となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	▲ 16.4	▲ 7.0	0.0	販売価格 (前期比)	21.9	28.2	26.8
売 上 額 (前 期 比)	▲ 13.9	11.3	12.9	仕入価格 (前期比)	39.7	70.4	67.6
売上額 (前年同期比)	4.1	9.9	—	資金繰り (楽－苦)	▲ 17.8	▲ 21.1	▲ 22.5
収 益 (前 期 比)	▲ 8.2	4.2	8.6	人手不足 (過剰－不足)	▲ 38.4	▲ 42.3	▲ 45.1
収 益 (前年同期比)	8.2	2.8	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して15.1ポイント低下した。

売上額判断D.I.が0.0、収益判断D.I.が0.0となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は15.1ポイント、収益判断D.I.は7.5ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は5.7、収益判断D.I.の前年同期比は13.2となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は0.0となり、業況は変わらないと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲1.9、予想収益判断D.I.は▲1.9となり、売上額および収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	15.1	0.0	0.0	販売価格 (前期比)	20.8	15.1	15.1
売 上 額 (前 期 比)	15.1	0.0	▲ 1.9	仕入価格 (前期比)	52.8	64.2	67.9
売上額 (前年同期比)	1.9	5.7	—	資金繰り (楽－苦)	3.8	0.0	▲ 3.8
収 益 (前 期 比)	7.5	0.0	▲ 1.9	人手不足 (過剰－不足)	▲ 62.3	▲ 52.8	▲ 47.2
収 益 (前年同期比)	▲ 3.8	13.2	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は10.6となり、前期実績と比して10.6ポイント改善した。

売上額判断D.I.は6.4、収益判断D.I.は▲4.3となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は8.5ポイント、収益判断D.I.は14.9ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は8.5、収益判断D.I.の前年同期比は8.5となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多かった。

● 来期の見通し

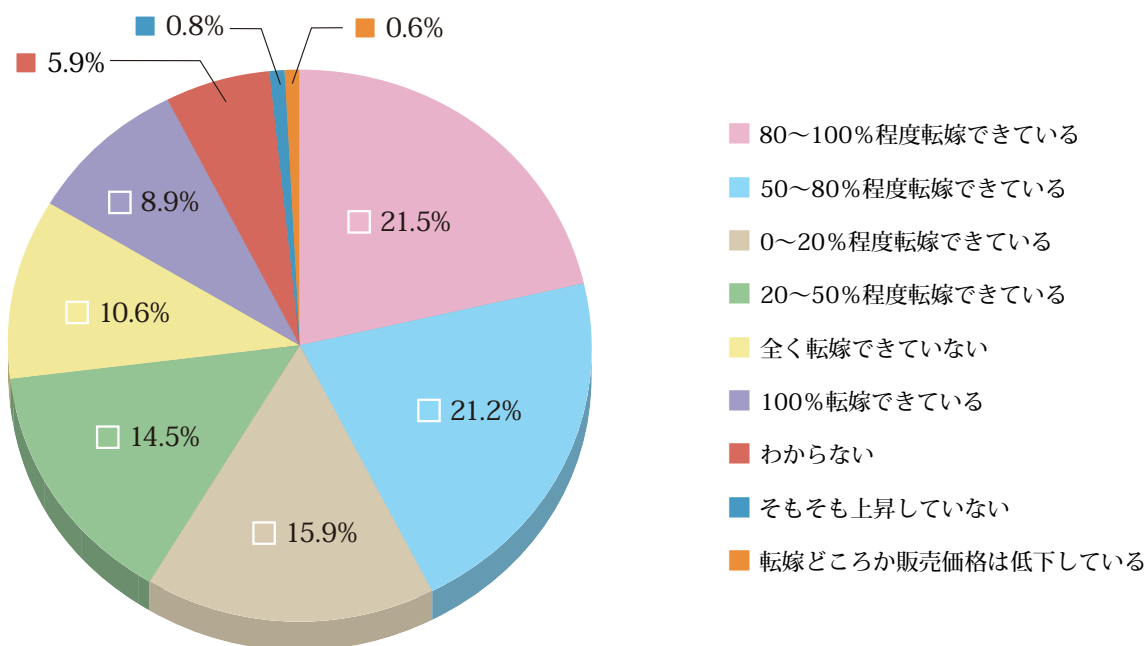
来期の予想業況判断D.I.は▲6.4となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は0.0、予想収益判断D.I.は▲4.3となり、売上額は変わらないものの、収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	0.0	10.6	▲ 6.4	販売価格 (前期比)	17.0	23.4	23.4
売 上 額 (前 期 比)	14.9	6.4	0.0	仕入価格 (前期比)	36.2	42.6	48.9
売上額 (前年同期比)	14.9	8.5	—	資金繰り (楽－苦)	▲ 6.4	2.1	▲ 4.3
収 益 (前 期 比)	10.6	▲ 4.3	▲ 4.3	人手不足 (過剰－不足)	▲ 19.1	▲ 23.4	▲ 21.3
収 益 (前年同期比)	6.4	8.5	—				

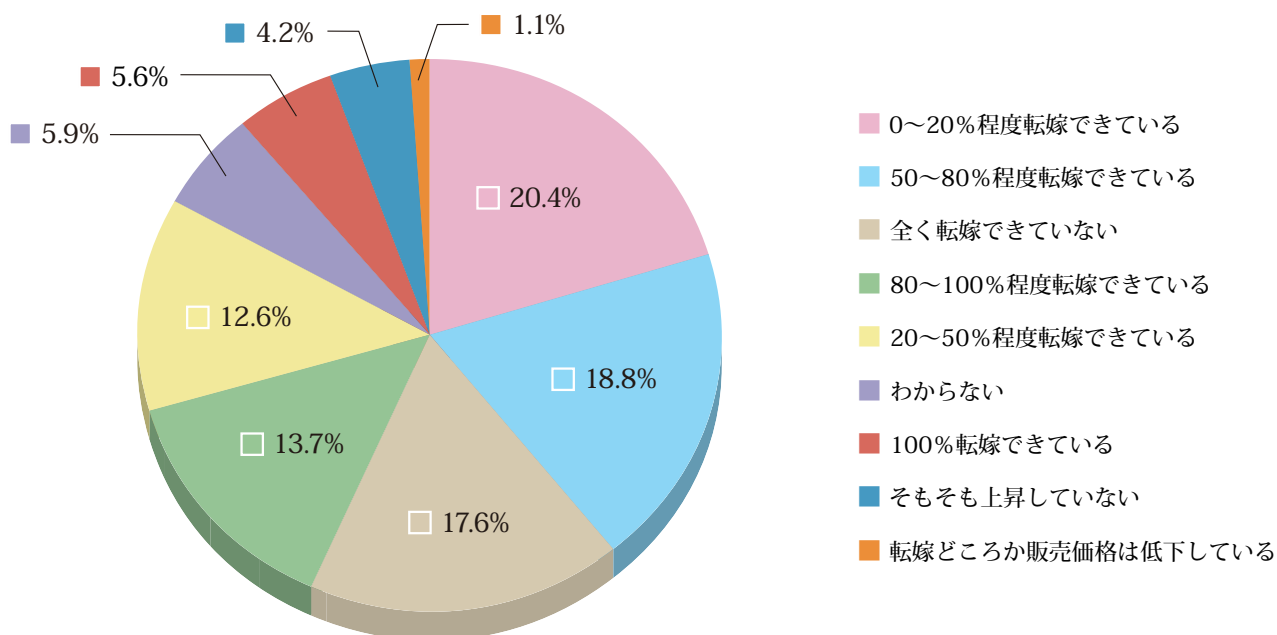
特別調査：「中小企業の価格転嫁について」

● ～ここ数年の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に価格転嫁できていますか～



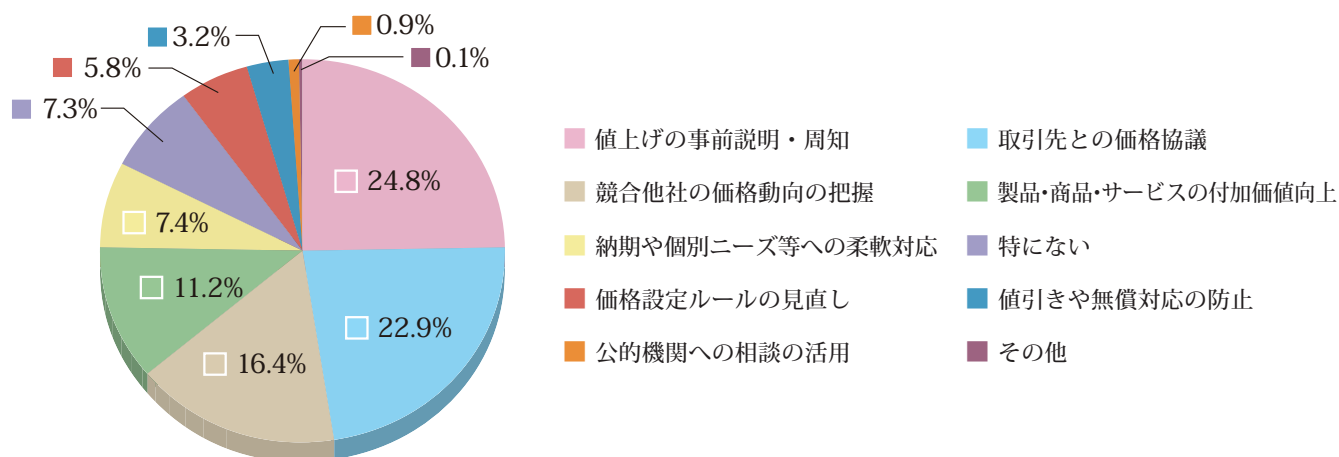
ここ数年の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に価格転嫁できているかについては「80～100%程度転嫁できている(21.5%)」の回答数が最も多く、次いで「50～80%程度転嫁できている(21.2%)」となった。

● ～ここ数年の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に価格転嫁できていますか～



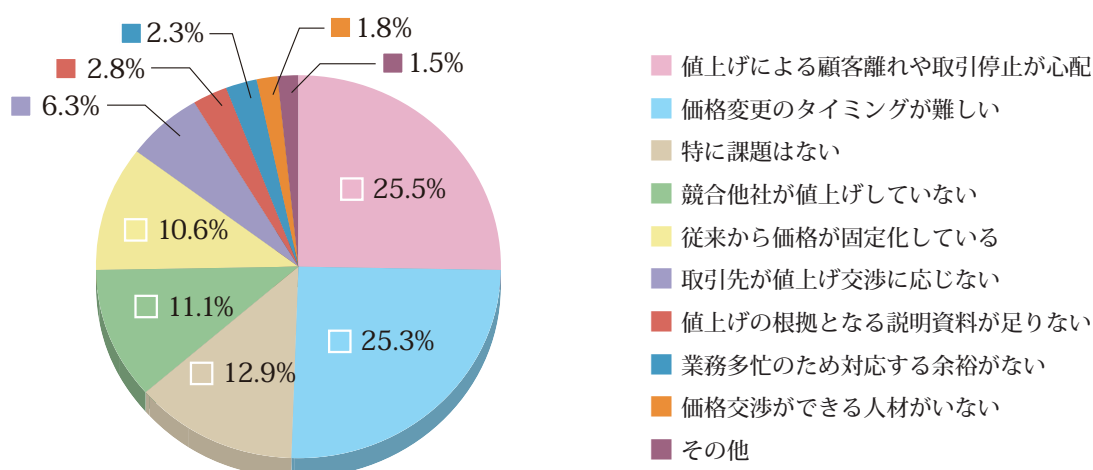
ここ数年の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に価格転嫁できているかについては「0～20%程度転嫁できている(20.4%)」の回答数が最も多く、次いで「50～80%程度転嫁できている(18.8%)」となった。

● ～取引先(販売先)との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みは何ですか～



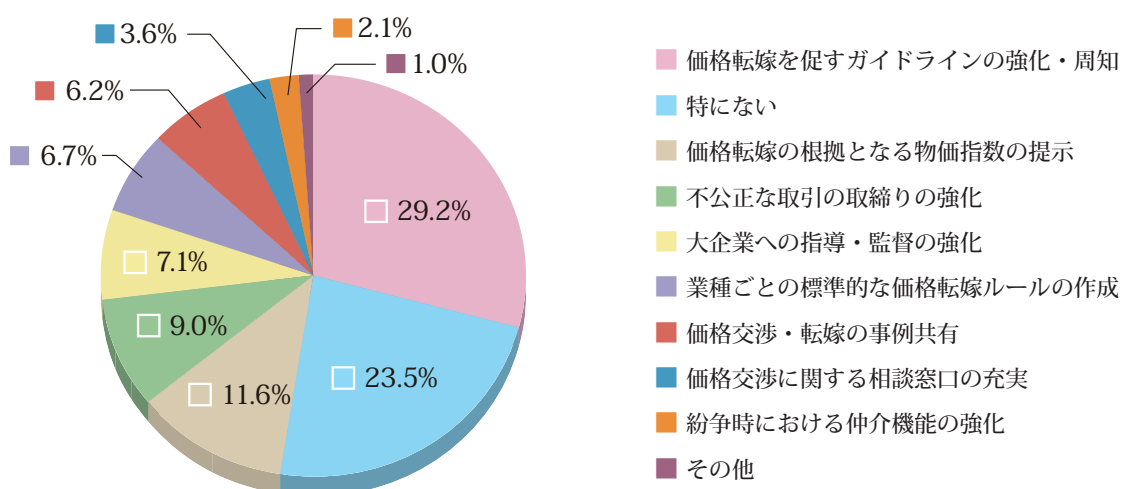
取引先(販売先)との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みについては、「値上げの事前説明・周知(24.8%)」の回答数が最も多く、次いで「取引先との価格協議(22.9%)」となった。

● ～価格転嫁を進める上での課題は何ですか～



価格転嫁を進める上での課題については、「値上げによる顧客離れや取引停止が心配(25.5%)」の回答数が最も多く、次いで「価格変更のタイミングが難しい(25.3%)」となった。

● ～円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組みはありますか～



円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組みについては、「価格転嫁を促すガイドラインの強化・周知(29.2%)」の回答数が最も多く、次いで「特にない(23.5%)」となった。

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、募集状況により受付を終了している場合がございます。

●「経営相談会」を実施します！

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点および中小企業基盤整備機構の専門スタッフが応じます。

- 開催日時・会場：①令和8年8月20日(木) 13:00～16:30 日新信用金庫 小野支店
②令和8年11月26日(木) 13:00～16:30 日新信用金庫 宇治川支店
③令和9年1月21日(木) 13:00～16:30 明石商工会議所
- 参加費：無 料
- 定 員：各日程3社

●「事業承継個別相談会」を実施します！

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点と兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターの専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和8年7月16日(木) 13:00～17:15 日新信用金庫 緑が丘支店
②令和8年8月6日(木) 13:00～17:15 日新信用金庫 垂水支店
③令和8年9月17日(木) 13:00～17:15 日新信用金庫 江井ヶ島支店
- 参加費：無 料
- 定 員：各日程3社

このたびは、第41回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。



〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク

☎0120-15-2489

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE及びInstagramの公式アカウントを発信しております。当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等発信しますので、下記QRコードからお友だち追加及びフォローをお願いします。



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。